

医療現場の最前線では、日々、多くの医師とさまざまな診療科チームが治療にあたっています。今回は、消化器内科の専門家として、内視鏡を使った治療に注力している伴宏充・内視鏡センター長の挑戦をご紹介します。



「内視鏡治療を受けて良かった」 その安心のためにレベルアップに注力しています

内視鏡治療への不安解消を
こころがけています

日々の診療において、患者さんが持つ病気や検査に対する不安を、少しでも解消することをこころがけています。とくに治療前には、病気の状態や治療方針について丁寧に説明をしています。

どのように治療がおこなわれるのか、十分に理解し納得していただくことで、安心して治療を受けていただくことにつながると考えています。一方で私たちは国内に限らず、海外の学会などにも積極的に参加し、常に最新の知識や技術を吸収しながら、スキルアップを図っています。また病棟の看護師を対象に定期的な勉強会を開催し、病院全体で知識の底上げを図っています。病院スタッフは「チーム」となり、今後も患者さんにより良い治療を提供していきたいと考えています。

滋賀県内の内視鏡治療環境を
今以上に整えていきたいですね

現在、内視鏡に関する医療職向け

勉強会は、多くの場合県外で開催されています。

その現状を変えるべく、病院や多くの企業の協力を得て、本年8月に草津総合病院で勉強会を開催することとなりました。県内の病院より多くの医療スタッフに参加する予定です。

今後も、内視鏡に関わる医療スタッフの方々の研鑽の場を、提供していきたいと思っています。

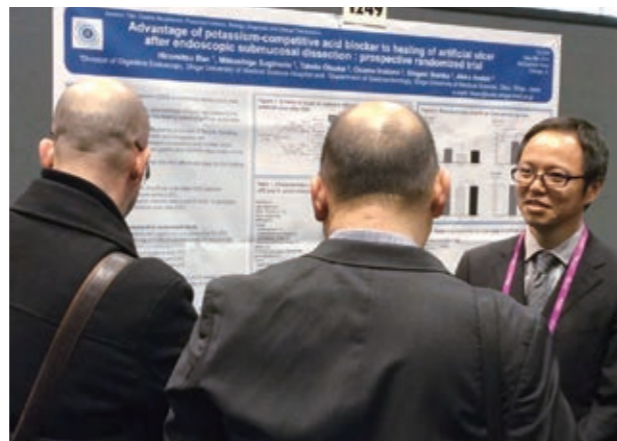
内視鏡センター長
消化器内科部長 伴宏充

●プロフィール

2002年滋賀医科大学医学部卒、医学博士。
長浜赤十字病院、滋賀医科大学などを経て2018年4月より草津総合病院内視鏡センター長として勤務。
専門は、早期がん内視鏡治療(日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡指導医)。
内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の治療件数はのべ800件を超える。



院内の勉強会



海外の学会風景

伴センター長に直撃！

内視鏡検査にまつわるみんなのギモン！



ギモン1 内視鏡検査ってどんな検査ですか？

内視鏡検査は大きくわけて2種類。胃カメラと大腸カメラがあります。

まず、胃カメラ検査は口や鼻から挿入して、食道→胃→十二指腸を観察します。空気を入れながら観察するので、少しおなかが張るかもしれませんが、観察後に空気を抜くのでそれほど違和感はありません。検査時間は約5分。食事は前日夜まで可能です。朝食を抜いて受診していただければ、当日の検査も可能です。

大腸カメラ検査では、肛門からカメラを入れて大腸全体を観察します。検査前日に下剤を服用(検査予約時に処方)→当日午前中から腸をきれいにする薬を飲む→午後から腸がきれいになった方から検査開始です。検査は20〜30分で終了し、検査時にポリプが見つかったら、小さければ当日切除できます。

※ポリプが一定以上の大きさだったり、飲まれている薬の内容により切除できない場合もあります。

口からの胃カメラ



この部分にカメラが触れると咽頭反射が起こります。

鼻からの胃カメラ



ギモン2 痛かったり、苦しかったりしませんか？

特に不安な方には、鎮静下での検査をおすすめします。

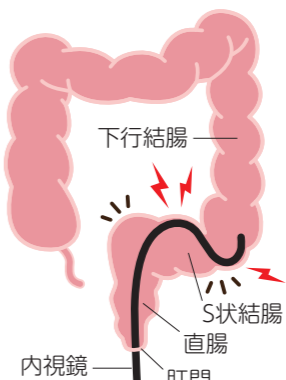
胃カメラも大腸カメラも、感じ方には個人差があります。胃カメラはのどを通るときに起こる「咽頭反射(えずき)」が強い人ほど苦手意識が強い傾向があります。そうした方には、口からよりも咽頭反射が起こりにくい鼻からの挿入で検査を受けていただくことも可能です(基本)

ギモン3 特に症状がなければ検査を受けなくていいですよね

病気の時代へ変化しています。予防の時代へ変化しています。

胃がんの最大の要因であるピロリ菌は、早いうちに除菌すれば、リスクを下げ「予防」が可能です。一般的にピロリ菌は幼少期に感染し、自覚症状もありません。

住民健診では胃カメラ、またはバリウム検査できるのが50歳以上ですが、胃がん予防の観点からは、早い時期に胃カメラ検査



本的には口から鼻からか選べますが、病態によっては口からの挿入をおすすめする場合があります。大腸カメラは人によって曲がり角でつばりや痛みを感じる場合がありますが、カメラの改良により以前より楽に検査を受けられるようになりました。それでも不安な方、以前検査でつらい思いをされた方は、鎮静下(眠ったような状態)での検査も可能なのでご相談ください。

ギモン4 検査費用はどのくらいかかりますか？

保険適用内での内視鏡検査等の費用は、次の通りです。

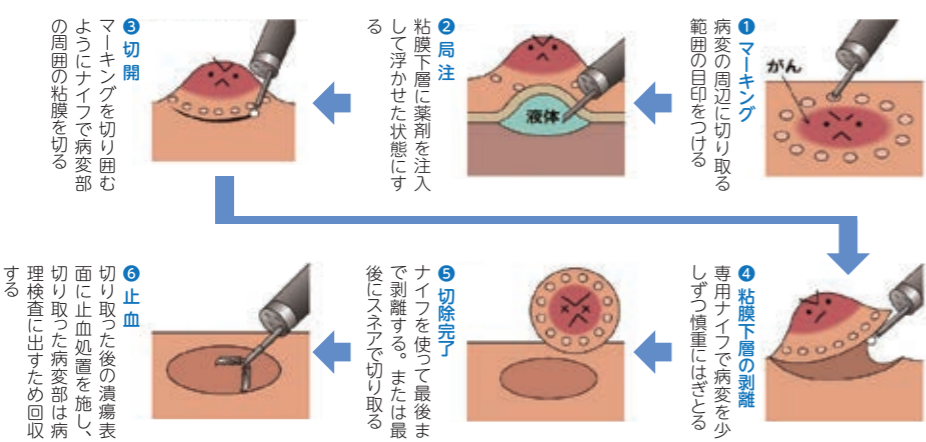
- 《費用》(いずれも3割負担の金額)
 - 胃カメラ……………約4,500円
 - 大腸カメラ……………約6,000円
 - ポリプ切除……………約20,000円
- ※外来手術の場合

早期がんの治療について

胃・食道・大腸における早期がんに対して、当院では特にESDでの治療に力を入れています。

もし、がんが見つかった場合でも早期なら、内視鏡で体に負担の少ない治療ができます。

内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の例



検査機器とESDについて

当センターでは、オリンパス社、フジフィルム社の最新機器を導入しており、スクリーニングから精密検査まで可能です。また、緊急検査も24時間365日対応できます。

内視鏡手術も、ポリプ切除から腹腔鏡・内視鏡合同手術まで幅広く行っており、その中でも早期がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)に力を入れています。

ESDは外科手術に比べて、体への負担(侵襲)が少ないため術後の痛みはかなり少なくなります。また、臓器を温存できるため、治療後も生活の質が落ちる心配もほとんどありません。安全に治療を行うには高い技術を要しますが、ESDの治療経験が豊富な医師が多数在籍しており、近隣病院で切除が難しかった症例の受け入れなども行っているため、安心して受けていただくことができます。

内視鏡によるがんの切除は、早期に見つからないと行えません。定期的な検査をおすすめします！
どれくらいの間隔で検査を受ければよいかは、患者さんごとに異なるので、消化器内科の担当医にご相談ください。



在籍検査担当医師

当センターでは、現在年間約1万件の内視鏡検査を行っております。

常勤医師 … 6名

- 消化器内視鏡指導医…1名
- 消化器内視鏡専門医…4名

非常勤医師 … 4名(指導医3名、専門医1名)

いずれも、経験豊富な医師が、皆さんの診察・検査を担当いたします。

2018年度 ESD治療件数

- 食道ESD …………… 14件
- 大腸ESD …………… 48件
- 胃・十二指腸ESD …… 51件



草津総合病院

内視鏡センターのご紹介

